

T・G・A・L～校長室だより～

令和2年9月15日（火）発行 第12号

○ 生徒会立会演説会

9/11（金）に次の生徒会執行部役員を決める立会演説会を新型コロナウイルス感染症対策として次のような形で実施しました。

- * 応援者の応援演説はなしで、立候補者の立会演説を3分以内で行う。
- * 立会演説会の後、体育館で行っていた投票を教室に戻って投票する。



選挙運動期間中、立候補者が登下校時に自作のたすきを掛けて、校門で選挙活動を時間いっぱい頑張っていました。

立会演説会では立候補者が自分の思いをしっかり主張し、生徒みんなでしっかり聞いていました。どちらも立派な態度だったと思います。生徒会担当の笹岡先生によると、「無効票はほとんどありませんでした。」とのことでした。立候補者の一生懸命さに生徒会に所属する生徒一人一人がふざけることなく、臨んだ表れだと思えます。

ところで、立候補者の主張を聞く中で、共通していたことが2つありました。

- ① 「先輩たちの活動を見て、自分も学校のためにみんなのために頑張りたい。」という発言が多く聞かれました。現生徒会執行部役員の活動が模範になったのだな、と思いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、1学期のほとんどの行事がなくなる中、給食時の放送や校門側の黒板の絵、生徒会新聞などで学校の雰囲気盛り上げていました。自然体で取り組む執行部役員の皆さんの活動に気持ちが和んだ人多いのではないのでしょうか。



- ② 「あいさつを頑張りたい、あいさつで学校を盛り上げたい。」という発言がほとんどの立候補者の主張から出ていました。私も登下校時に「おはようございます。」「さようなら」と声をかけて、あいさつが返ってくる人が60%ぐらいではないのでしょうか。立候補した皆さんも私と同じように、現状のあいさつの状況に物足りなさを感じているのではないのでしょうか。日々のあいさつは「人の軸」を作っていく大切な要素の一つだと思います。皆さんは今、時間をかけて「人の軸」を作っていく途中のような気がします。あいさつが抵抗なくできるようになるといいですね。

皆さんで新生徒会執行部が活動しやすいように協力していきましょう。